

教育長メッセージ ～退任のご挨拶～

令和8年5月7日

保護者、市民の皆様へ

日頃は徳島市の教育推進に、ご理解ご協力を賜り、ありがとうございます。

このたび、5月8日（金曜日）をもちまして、教育長を退任することとなりました。

在任中、皆様方には新型コロナウイルス対応をはじめ、様々な社会情勢のもとでの教育課題解決に向け、多大なご協力を賜りましたことに、お礼と感謝を申しあげます。

振り返りますと、着任日の令和2年5月9日は、新型コロナウイルス感染症で全国一斉臨時休業のまっただ中でありました。徳島市教育委員会では、子どもたちの学びの継続をどのように保障するのかということが最大の課題でした。子どもたちや教職員の安全を第一に考えながら、コロナ対応の関係職員と連日遅くまで議論していたことを思い出します。

また、コロナ禍をきっかけに大幅にスケジュールが短縮されたGIGAスクール構想では、一人一台の端末が導入されました。故障等がありご迷惑をおかけしたこともありますが、オンラインでの授業ができるまで進歩しました。

今後、ますます情報技術やそれに関連する情報教育は、予想がつかぬほどの速さで進展していきます。保護者の皆様には、どうか、子どもたちにとって学校で学んだことが、将来の生活に活かせるような学びの支援をお願いします。

園児児童生徒の皆さんは、新鮮な今の気持ちを大切に持ち続け、自分の才能や特性を活かしながら、「夢や希望、志」など、目標や目的をもって学校生活を過ごしてください。しかし、現実には、誰もが大谷翔平選手のようにはなれません。

もし「夢や希望、志」に迷い、悩んだ時には、先生や恩師、保護者やお家の方、親友などを頼り、相談してください。将来を見守ってくれる人が一人でも多い方が、今後の励みになるように思います。

どうか、今後とも、子どもたちの健やかな成長のために、教職員の皆様、保護者・地域の皆様には変わらぬご支援をお願い申しあげます。皆様のご健勝と、本市教育のさらなる発展を心より祈念し、退任の挨拶といたします。

6年間、お世話になりました。ありがとうございました。

徳島市教育委員会教育長 松本賢治